



今月の題字
ふくしひでゆき 君
(織笠小2年)

町のわだかまり

山田高がモデル校に指定 自転車のマナー向上を誓う

宮古警察署などでは、山田高校(主濱幸彦校長・生徒252人)を交通マナーアップモデル校に指定。4月27日、同校体育館で指定書の交付式を行いました。生徒の自主的な交通安全活動による事故防止を目的に指定したもので、式では矢羽々諭宮古警察署副所長が田村将生徒会長(3年)に指定書を交付した後、「相手を思いやる気持ちで交通マナーを守り、地区の模範となることを期待します」とあいさつ。田村会長は▶余裕を持って登校する▶常に安全な通行を心掛ける——など4項目からなる決意を述べ、自転車を中心とした交通ルールの順守とマナー向上を誓っていました。



放課後児童クラブを開設 子育てと就労の両立を支援

山田南小学校内に放課後児童クラブが開設され、4月4日、同校で開所式が行われました。これは保護者が就労などにより、昼間家庭において保護を受けることができない児童の健全育成を目的として町内で初めて開設されたものです。式では、入所する児童11人が一人ひとり名前を呼ばれ、「ハイ」と元気よく返事していました。同クラブは山田南小学校の児童を対象としていますが、学区外の児童については、夏休みなど長期休暇中や土曜日に限り受け入れる「一時学童保育」を行います。詳しくは、役場保健福祉課児童福祉担当(☎82-3111内線134)へお問い合わせください。



鯨館で「クジラの切手展」 世界の珍しい絵柄一堂に

「クジラの切手展」が4月24日から鯨と海の科学館で開かれています。展示されている切手は、切手収集家の白木靖美さん(71歳)＝千葉県在住＝が所有する鯨やイルカに関する切手約9千点の中から厳選した世界30カ国の切手約175点を複写・拡大しパネルにしたもの。マッコウ鯨やザトウ鯨が勇壮に泳ぐ絵柄のほか、中国・揚子江のカワイルカや童話「人魚姫」をモデルにした切手などがずらりと並べられ、訪れた人たちは珍しい切手に足を止めて興味深げに見入っていました。切手展は6月30日まで開催されます。



「世界大動物園」が来町 動物との触れ合い楽しむ

東北、那須両サファリパーク主催の世界大動物園が、船越公園第二駐車場を会場に4月10日から開催され、大勢の家族連れなどでにぎわいを見せています。会場には白いトラやライオンなどの希少動物のほか、ラクダやキリンなど大型動物をはじめとした60種120頭羽の動物たちが集合。同動物園は一部の動物に餌を直接あげることができるのが特徴で、訪れた人たちはラクダに餌をあげたり、ウサギを腕に抱いたり、動物たちとの触れ合い体験を楽しんでいました。同動物園は5月23日まで開催されます。



「山田BBS会」の設立総会 非行のない明るい町を目指し

4月25日、「山田BBS会」の設立総会が、町中央公民館で開かれ、県内12番目となるBBS組織が発足しました。青少年の更生保護と健全育成を目的に町内の10代から40代の青年で組織されたもので、設立総会には会員や保護司など30人が出席。規約や事業計画、予算などを決定し、会長に横田裕さん(33歳)＝大浦＝を選出しました。会員の皆さんは「町民の理解を得ながら末永く活動していきたい」と社会貢献に意欲を見せていました。総会終了後、同会場で行われた設立セレモニーが行われ、吉塚公雄さん(田野畑山地酪農牛乳代表)が「人として大切なこと」と題して講演しました。

公園市場「花まりん」オープン 甘いイチゴに思わずニコリ

4月25日、花と緑の公園市場「花まりん」が船越公園に開園し、町内外から1,000人が訪れました。同市場は町内の花き栽培業者などで構成する花と緑の地域づくり協議会が旧マリパーク跡地の有効活用のため設立したもので、会場には色とりどりの花や、庭木、盆栽などが所狭しと展示販売され、来場者は花や野菜の苗などを買い求めていました。イチゴの試食コーナーでは1人1個限定のイチゴ狩りが体験でき、訪れた人たちはピニールハウスの中で厳選したイチゴを手に、「甘くておいしい」と味わっていました。

